

環境保全の仕組みを

- 久万高原の水を守りぬこう！ -



三坂の石切場跡と、墨ぬりだらけの愛媛県の公開文書によるコラージュ

産業廃棄物の最終処分場建設計画の発覚と、大規模な住民の運動から5年後、環境保全条例策定委員会が発足しました。これまで14回開催されています。

「知ること」、「つながること」が大切

第12回の会議では、「2012年に産廃最終処分場の話が発覚したが、実はその4年前から業者は県の指導を受けていた」とことが語られました。「町民一人一人が、そういう情報を持って、つながって協力する」事の大切さが述べられています。

「候補地から外れることはない」危険

また、策定委員会の委員長は、「いつ、三坂に着手するかは分かりませんが、候補地から外れることは、絶対ありえんのですよ。そのことだけは、町民の皆様にも、しっかりと認識をもってもらいたくないと思います」と述べています。保全条例の策定に取り組んできた経過を町民に伝えようとの覚悟が伝わります。

油断できない＝愛媛県の公開文書は真っ黒

かつて、4年間も住民に知らせなかった愛媛県の担当課の文書は、公開請求で出て来たものの真っ黒でした。どんな議論がされていたのかは、今もわからないままです。決して油断しないで、環境保全の仕組みと住民が「つながって協力する」ことが求められています。

家族農業を支える農政に！

国連「家族農業の10年」(2019～2028年)の最中にあります。世界の農業経営体のうち、大部分は家族農業です。

世界中どこでも、家族農業が圧倒的に多い

日本 (家族経営体)	EU (ヨーロッパ) (ファミリーファームズ)	アメリカ (ファミリーファームズ)
97.6% (134万/138万戸)	96.2% (1,043万/1,084万戸)	98.7% (掲載なし)

農林水産省 2015年、EU2016年、アメリカ 2018年資料から



今の農政は、家族農業を時代遅れのように扱っています。しかし、家族農業こそ支えるべきです。「くらせる農業に」との声を一緒にあげていきましょう。

農業は、国民の安全な食料を担う基幹産業です。人間発達の観点からも優れた仕事です。家族と安心して暮らせるなら、若者の移住・定住も伸びてくるはず。議会にもこの声をしっかり届けたい。

左は、久万高原町在住の写真家のご協力も得て、みんなで作成したプラスター(プラカードとポスターからきた造語)

ながえ孝子さんから激励

参議院で、碧水会という2人の少数会派で頑張る永江孝子さん。激励をお寄せいただきました。野党共闘でも、共同を重ねています。野村ダムの放流問題では、現地に足を運び熱心に取り組まれていました。憲法をはじめ、環境問題にも深い関心をよせられています。



コロナウィルス感染症が心配ですが、これまでも、久万高原町のために活動してこられた「大野よし子」さんが、そばにいてくれるから、これからは安心です。

参議院議員
ながえ孝子

●日本共産党久万高原町支部が政策を発表しましたので紹介します。

久万高原民報

2021年3・4月号外
日本共産党久万高原町支部
久万高原町西明神 344-1
TEL・FAX 0892-21-2110

大野よし子のホームページ

携帯からは
このQR
コードで→



<https://oonoyoshiko.net>

「久万高原、大野よし子ネット」の2語検索で

あなたの声を

しっかり届けたい！



日本共産党

久万高原町支部 農業・暮らし相談室長

大野よし子

【プロフィール】1946年生まれ。奈良教育大学卒。1995年まで大阪府内で小学校教諭を務めたのち、夫の実家(久万高原町西明神)に移住し農業に従事。現在、トマトや稲作を営む。趣味は絵画、伊予万歳。久万高原九条の会で活動。

大野よし子は皆さんの声を届け実現めざします

●暮らし

介護保険・国保掛金引き下げを
暮らせる賃金・年金に
「生活の足」確保の交通政策へ
米軍の低空飛行は中止を！
産廃処分場等の建設反対

1面参照を

介護保険や国保の負担軽減を求める声が強くあります。国保の「均等割」は子どもからもとる負担であり問題です。これをなくす自治体も出て来ています。

75歳以上の医療費窓口負担を2割に倍化する動き。国の冷たい対応に、地方議会からも意見書などで声をあげていきましょう。

榎之川など光回線の予定なし?!。高速回線はリモート会議には必須。だれにも機会があるべきでは?若者の移住にも必須でしょう。

●コロナ対策

医療と連携しPCR検査で感染防止を罰則でなく減収補償こそ
消費税5%に減税を

社会的検査の
拡充を!

この秋、内子町・新居浜市・伊方町で、高校3まで医療費無償化に。ぜひ、久万高原町でも実現しましょう。



農協支所の統廃合は地域の過疎化をまねかかねません。協同組合本来の役割を大事にしてほしいとの声。共感し連帯したいと思えます。

●子育て

高校卒業まで医療費無料化を
学校給食費の補助・無償化へ
国保税均等割の子どもへの賦課廃止を

米軍の低空飛行やめよ

●農林業・産業

暮らせる農林業へ間伐材有効活用を
エネルギー地産地消と自然エネ活用
農林業後継者の育成と家族農業支援

標高700mの榎之川で農作業中に、大野よし子自身も目撃。山から機体が沸き起こり、機体の腹に吸い込まれるような感覚。猛烈な爆音とともに戦闘機が飛び去りました。昨年5月のことです。

3月22日の愛媛新聞は、久万高原町で21回以上目撃した場所がある(2019/4~2020/12)と報じました。国は米軍に低空飛行中止を毅然と求めるべきです。

右は、(愛媛新聞記事・住民撮影の米軍輸送機・県に申し入れる大野よし子)のカラーズ



●まちづくり

移住・定住の促進
年金で入れる特養ホームの増設を
医療体制の充実を

再生可能エネルギーを目標定めて増やし、活性化している自治体があります。久万高原町でも目標定めて取り組みを。

特養ホーム待機者は約70名と見られます。第8期計画で新たな施設づくりはしないとのこと。今必要な人々への対応を欠いてはなりません。

比例代表は **日本共産党** へ



3月20日、大野よし子事務所で「大野よし子・白川よう子を囲む会」を持ちました。

白川さんは、母と共に父のDVから逃れ、極貧生活に直面した体験も含め、日本共産党への入党に至る過程を語りました。大野よし子さんは、教員と自営農をそれぞれ26年体験し、共通する仕事の喜びを語りました。参加者からは「日本共産党員への認識を変えた」等の感想が語られました。

なお、白川よう子さんは徳島・香川の医療生協に勤務のち36歳で香川県議に初当選。4期14年務め、2017年からは国政に挑戦。永江さんに続き、女性として国会で頑張れるよう奮闘中です。

四国ブロック国政対策委員長 **白川よう子**



尾身氏の陳述
社会的検査「定期的に続けてが重要」
モニタリング検査「キャパ増やす絶対機」
家庭検査「意志持てば技術的に可能」

3月16日、コロナ問題で小池晃議員が積極提案。社会的検査の拡充などを訴えました。尾身茂さん(感染症対策分科会)の見解は、日本共産党の提案と重なりあっていました。

上下2つの紙面はしんぶん赤旗より

日本共産党は米国の横暴に対してだけでなく、北方領土や尖閣問題でロシアにも中国にも厳しく抗議や批判を行っています。香港での民衆への弾圧、ウイグルの人々への隔離や弾圧にも厳しく抗議しています。最近ではミャンマー国軍の武力弾圧を直ちに中止せよと声明を発しました。

どんな国・権力の横暴にもはっきり声をあげ続けています。

